

平成27年度 事業報告書

第1 事業内容

被害者やその家族、遺族からの相談に対して、犯罪被害者等の精神的被害を軽減するため、電話・面接相談の受理、被害者支援に関する情報を提供するなど電話相談室に設置された専用電話により、支援活動員が対応した。

相談・支援件数は563件で、前年度対比-159件、-28%の減少であった。犯罪の形態別では、強姦・強姦わいせつなどの性犯罪被害が145件、全体の約26%、暴行・傷害が115件、全体の約20%、殺人・傷害致死が101件、全体の約18%をそれぞれ占めた。

その内訳は、次表のとおりである。

(件)

殺人・傷害致死	強盗致死傷	性犯罪被害	暴行・傷害	交通被害	財産的被害
101	1	145	115	68	8
DV	ストーカー	虐待	その他	合計	
1	4	1	119	563	

(注) その他は、労働関係、金銭貸借等民事関係等である。

1 犯罪被害者等に対する電話・面接相談事業

犯罪被害者等の精神的被害の回復と軽減を図るため、支援活動員による電話・面接相談を行った。

相談件数は、電話相談388件、メール・手紙相談26件、面接相談15件、合計429件、前年度対比+118件28%の増であった。

(件)

電話相談	メール・手紙相談	面接相談	合計
388	26	15	429

(注) 面接相談は、性犯罪被害者のカウンセリングや加害者に対する損害賠償請求に関するもので、臨床心理士や弁護士等の専門家の助言、指導を受けて行った。

2 遠隔地における移動相談車の活用による移動相談業務（試行）

県内の遠隔地において被害者支援をする機会が多くなっている現状に対応し、預保に関わる日本財団からの助成による移動相談車を平成26年度末に導入したことから、東濃地区において多治見市、飛騨地区において高山市と連携した相談業務を試行した。

相談回数等は、次表のとおりである。

	移動相談場所	実施日時	実施回数
1	多治見市役所	毎月第2水曜日 午前11時～午後3時	9回
2	高山市役所	毎月第4水曜日 午前11時～午後3時	7回（祝日を除く）

### 3 役務の提供等による被害者等の直接的支援事業

- (1) 平成20年12月、刑事裁判手続きにおける「被害者参加制度」「損害賠償命令制度」が施行され、裁判廷において、被害者や遺族が被告人質問・意見陳述する機会が多くなった。これらの司法改革に伴って、被害者支援の内容、在り方も大きく様変わりし、また、犯罪被害者の権利擁護の必要性が改めて示されることとなったため、検察、裁判所関連付添い支援活動をする機会が増えた。
- (2) 少年事件での少年審判に関連する被害者支援、心神喪失者等医療観察法の審判での被害者支援等、新たな領域の支援を継続している。
- (3) 被害者や遺族からの要請を受けて、相談員や支援活動員が警察署、検察庁、裁判所への付添いなどの直接的支援を行った。件数は、134件で、前年度対比-277件であった。その内訳は、次表のとおりである。

(件)

裁判・弁護士関連支援	検察関連支援	警察関連支援	行政窓口付添い
37	29	12	1
病院付添い	自宅訪問・生活支援	その他	合計
2	21	32	134

(注) その他は、自助グループ支援、臨床心理士付添、給付金申請補助、直接支援に関する面接相談件数である。

### 4 性暴力被害者ワンストップ支援受託事業（ぎふ性暴力被害者支援センター）の推進

- (1) 設置の理由については、性犯罪・性暴力被害者は、身体的・精神的に極めて重い負担を強いられ、精神的ショックや羞恥心、さらに様々な二次的被害を受ける場合があり、被害申告をためらうと推定されており、このような被害者の心身の負担を軽減し、その健康の回復を図り、二次的被害の防止や被害の潜在化を防止するため、被害直後から関係する産婦人科医等との連携による相談、支援ができることを目的とした「ぎふ性暴力被害者支援センター」を24時間体制で県が所管した。
- (2) 受託に至った理由は、犯罪被害者の相談・支援のノウハウを持っているという理由から、当支援センターに前記支援センターを併設し、県からの事業を受託した。
- (3) 支援活動員の養成に当たっては、「第7期養成講座」を開催し、新たな性犯罪・性暴力被害者相談業務に特化した、養成講座を県子ども家庭課と連携し、実施した。

「ぎふ性暴力被害者支援センター」設置までの経過については、次表のとおりである。

日 時	検 討 会 議 等 の 開 催
平成26年3月25日	岐阜県性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮）第1回準備検討会

平成26年4月21日	岐阜県性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮）第2回準備検討会
平成26年7月25日	第1回性犯罪被害者ワンストップ支援センター（仮称）設置検討会
平成27年1月29日	性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）設置検討第1回「ワーキンググループ」
平成27年2月23日	第2回性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）設置検討会
平成27年3月19日	性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）設置検討第2回「ワーキンググループ」
平成27年4月23日	同上 第3回
平成27年5月22日	同上 第4回
平成27年6月25日	同上 第5回
平成27年7月17日	同上 第6回
平成27年7月29日	第3回性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）設置検討会
平成27年8月28日	性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）設置検討第7回「ワーキンググループ」
平成27年9月28日	同上 第8回
平成27年12月3日	ぎふ性暴力被害者支援センター協力医師交流会
平成27年12月18日	ぎふ性暴力被害者支援センター担当者連絡会
平成28年1月15日	第1回ぎふ性暴力被害者支援センター医療部門担当者連絡協議会
平成28年1月28日	ぎふ性暴力被害者支援センター第1回運営連絡会議

(4) ぎふ性暴力被害者支援センターの相談受付状況（平成27年10月15日～平成28年3月31日）

平日の午前10時から午後8時まで交替制で支援活動員が電話相談等に従事し、その他の時間は、外部委託により電話相談を受理している。その相談受付件数は、次表のとおりである。

○ 相談件数

(件)

時間帯	相談方法	電話	面接	メール	計
昼間（平日 10時～20時）		89	15	4	108
夜間（20時～翌10時）・休祝日		75	0	0	75
計		164	15	4	183

○ 相談内容（上記の件数の内訳） (件)

時間帯	相談内容	強姦	強制的わいせつ	DV	その他	計
昼間（平日10時～20時）		25	57	1	25	108
夜間（20時～翌10時）・休祝日		9	4	4	58	75
計		34	61	5	83	183

（注）その他は、性犯罪被害に非該当、他機関からの照会、途中切断等

○ 同行支援 (件)

医療的支援	法的支援	精神的支援	その他	合計
7	4	5	4	20

(5) 支援活動員「第7期養成講座」の開催（平成27年5月～6月）

新たな性犯罪・性暴力被害者相談業務に特化した、養成講座を県子ども家庭課と連携し、ふれあい福寿会館で開催した。公募したところ、33名（女性25名 男性8名）が受講した。

開催状況は、次表のとおりである。

日時	時限	主な研修内容等
5月9日	4	開講式 支援センターの役割等 法的支援の現状（弁護士）被害者の声を聴く
5月14日	4	警察の支援活動 検察庁の支援活動 被害者の心理（心理士、精神科医）
5月21日	4	性被害者の医療措置（産婦人科医） 法テラスの支援 行政と被害者支援
5月28日	4	裁判所の支援活動 電話相談実習・ロールプレイ
6月11日	4	DV被害と行政の支援制度 女性への暴力と社会構造（弁護士）
6月18日	4	女性の自立支援（大学教授）性暴力被害者支援 コーディネーター論 閉講式
6月20日	3	特別公開講座基調講演（加藤泰治子医師） パネルディスカッション

（注）1時限（1コマ）90分

(6) 第7期生相談対応実地研修状況

月	日	曜	研修場所	研修内容	講師	備考
7	16	木	シンクタンク3階入札室	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の活動要領の説明等</li> <li>被害者支援の取り組み</li> </ul>	瀧戸事務局長 塚本相談員	7期生 対象
7	30	木	シンクタンク3階入札室	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡事項</li> <li>被害者支援の実際</li> <li>電話相談対応</li> </ul>	事務局 東海学院大学教授（臨床心理士） 寺田 道夫 氏	7期生 対象
8	6	木	県職員研修所研修室3階 講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>性犯罪・性暴力ワンストップ 支援センターに係る会議</li> <li>性暴力被害者支援と医療の役</li> </ul>	県子ども家庭課 朝倉係長 廣瀬産婦人科医	全支援 員対象

				割 ・性暴力被害者支援活動員の役割	師 瀧戸事務局長 塚本次長	
8	20	木	シンクタンク3階入札室	・ワンストップ支援センター開設に伴う警察との連携強化	岐阜県警察本部 広報県民課支援室 島村補佐	7期生 対象
8	27	木	ふれあい福寿会館 404号	・性暴力被害者への支援 ・電話相談の対応	林貴子相談員 古田孝子相談員	7期生 対象
9	8	火	シンクタンク5階 大会議室	・スキルアップ研修 「性暴力被害と警察の対応」	岐阜県警察本部 広報県民課支援室 長屋警部補	全支援 員 対象
9	15	火	シンクタンク3階入札室	・自主学習 (初級・中級マニュアルを活用)	事務局	7期生 対象
9	17	木	ふれあい福寿会館3階 NPO研修室	・性暴力被害者支援センター夜間 診察対応に伴う支援のロール プレイ	塚本次長 林相談員	全支援 員対象
	随時		支援センター 事務室、電話相談室等	・電話相談室 ・事務的作業 ・啓発活動、財務活動等	事務局	7期生 対象

#### 5 犯罪被害者等給付金裁定申請補助事業

犯罪被害者等給付金裁定申請及び全国被害者支援ネットワーク緊急支援金申請件数は、毎年ほぼ横ばい傾向である。犯罪被害者等に、国が支給する給付金についての情報を提供し、申請手続き等について記載要領等を説明し、申請補助を行った。被害直後に医療費や交通費、住居の転居費用等の経済的負担を強いられた被害者に対して全国被害者支援ネットワーク緊急支援金の申請手続き3件を行った。

#### 6 犯罪被害者等の自助グループへの支援事業

交通事故等の遺族らによる自助グループ「ふれあい」の活動を継続して実施した。これは、同じ悩みを持つ人たちの相互援助活動の維持・運営に側面的な支援を行う活動である。

月例会を毎月第3木曜日の午後にシンクタンク庁舎等で12回開催した。毎回3～7名の参加者があり、支援活動員がその支援に当たった。

#### 7 関係機関・団体等との連携事業

検察庁、弁護士会との犯罪被害者協議をはじめ、県警察の被害者支援室、県環境生活政策課、子ども家庭課、人権教育啓発推進協議会、犯罪被害者支援活動推進協議会、市町村との連携を図り、被害者支援に必要な協議、意見交換を行った。

開催結果は、次表のとおりである。

岐阜市人権教育・啓発推進協議会（岐阜市役所）
6月30日(火) 平成28年1月28日(木) 塚本次長出席
県犯罪被害者支援活動推進協議会総会
6月2日(月) 県警察本部 松井理事講演 事務局長出席
犯罪被害者支援協議会（検察庁・県弁護士会犯罪被害者支援委員会・ぎふ犯罪被害者支援センター）
5月19日(火) 8月31日(月) 11月19日(木) 平成28年2月17日(水) 検察庁 事務局長以下5名
可児警察署署員に対する講演（可児警察署大会議室）
5月22日(金) 講師 事務局長
退職公務員連盟各務原支部総会での講演（各務原市羽助福祉センター）
6月25日(木) 講師 林相談員
インターンシップ参加学生への受け入れ 県環境生活政策課より
9月3日(木) 南山大学生1名
県男女共同参画プラザ団体交流会
9月10日(木) 事務局1名出席
第46回心の輪研修会（岐阜市 メディアコスモススタジオ）
9月25日(金) 講師 林相談員
被害者支援専科における講義（関市 県警察学校）
10月29日(木) 講師 塚本主任相談員
犯罪被害者支援を考える・学ぶ講座（全国被害者支援ネットワーク 明治大学法学部）
12月4日(金) 理事 松井克幸氏講師 塚本次長
岐阜県警 職場教養における講師派遣（県警本部）
平成28年2月3日(水) 講師 林相談員
岐阜刑務所研究授業への参加
平成28年2月19日(金) 岐阜刑務所 事務局長出席
平成27年度安全・安心まちづくり及び犯罪被害者等施策担当者会議における講演 県庁
平成28年2月24日(水) 講師 林相談員

## 8 犯罪被害者等の実態に関する調査・研究事業

全国支援ネットワーク主催のフォーラム・研修会をはじめ、他府県開催の講演会等に支援員を積極的に参加させ、被害者支援活動に関する知識の習得を図った。研修等は、次表のとおりである。

(1) 犯罪被害者支援研修

東海北陸ブロック研修会 質の向上研修上期・下期 (愛知 ウィンクあいち)
第1回 9月12日(土)～13日(日) 支援活動員5名参加 第2回 2月13日(土)～14日(日) 支援活動員10名 (内2名講師で参加)
直接的支援実地研修 (東京) 都民センター
7月6日(月) ～ 10日(金) 支援活動員1名参加
支援活動会議 NNVS (東京 機械振興会館)
7月24日(金)～25日(土) 塚本主任相談員出席
全国犯罪被害者支援フォーラム・秋期全国研修会 (東京 ヤクルトホール)
10月2日(金)～4日(日) 支援活動員2名参加
課題研修 上級 (大阪 大阪アドボカシーセンター)
9月7日(月)～9日(水) 犯罪被害相談員1名参加
少年犯罪被害者当事者の会 「第16回 WiLL」 (大阪 大阪市立西区民センター)
10月10日(土) 支援活動員3名参加
自助グループ運営・連絡会議 (東京 機械振興会館)
12月7日(月) ～ 8日(火) 支援活動員2名参加
直接的支援実地研修 (宮城 みやぎ被害者支援センター)
12月7日(月)～10日(木) 支援活動員1名参加
殺人事件被害者遺族の会フォーラム いのちかなでる (名古屋市 愛知県図書館)
12月20日(日) 事務局長・支援活動員4名参加
春期全国研修会 コーディネーターを目指すための研修 後期 (東京 機械振興会館)
平成28年1月27日(水) ～ 29日(金) 犯罪被害相談員1名参加

(2) 性暴力被害者支援研修会等

性暴力救援センター全国連絡会 第2回全国研修会 (大阪市 中央公会堂)
4月26日(日) 支援活動員3名参加
公開講座 大阪 SACHICO 加藤治子医師の講演会とパネルディスカッション (ふれあい会館)
6月20日(土) 理事長・廣瀬副理事長出席 ・局長他40名参加
女性の安全と健康のための支援教育 支援者のための研修講座 (東京 有明医療大学)
① 7月18日(土)～7月19日(日) 犯罪被害相談員3名参加

② 12月12日(土)～13日(日)	犯罪被害相談員3名参加
③ 平成28年2月27日(土)～28日(日)	犯罪被害相談員2名参加
ゆいネット岐阜・名古屋合同研修会 (岐阜 十六プラザ)	
平成28年1月17日(日) 理事長・局長・支援活動員他10名 林相談員パネラー	
平成27年度内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」研修 (大阪府立男女共同参画青少年センター)	
平成28年2月23日(火) 24日(水) 支援活動員2名参加	

## 9 犯罪被害者支援に従事する者の養成及び研修事業

### (1) 電話相談、直接的支援に携わる支援活動員研修

電話相談、直接的支援に携わる支援活動員50名を対象として、支援に必要な知識、技能の向上を図るため、NNVS認定コーディネーターによる研修をはじめ、精神科医・弁護士・臨床心理士等の講師によるスキルアップ研修を、毎月、継続して行った。

研修に当たっては、直接的支援の事例検討、ロールプレイの研修技法を取り入れた。また、殺人事件被害者遺族や医師、臨床心理士、弁護士等を講師として、遺族の心情、面接相談技法、被害者支援の法制度等について研修させた。

スキルアップ研修実施結果等は、次表のとおりである。

月	日	曜	研修内容	講師	備考
4	14	火	オリエンテーション 開講式	森川理事長	シンクタンク大会 議室
			支援員認定書の交付 ・倫理綱領 ・平成27年度センターの活動状況	瀧戸事務局長	
5	12	火	・子どもの心が傷つくとき支える人が大切 にしたい心 (性被害や罹災への対処方法)	寺田臨床心理学 研究所所長 寺田 道夫氏	同上
6	9	火	・被害者の理解を深める DV被害当事者支援の留意点	NPO法人あゆみだした 女性の会 理事長 廣瀬直美氏	同上
7	14	火	・指示、伝達事項 ・電話相談受理対応 ロールプレイ	瀧戸事務局長 古田・林・神谷相談員	同上
8	29	土	1日研修 ・犯罪被害者の現状 強盗殺人未遂被害者の講話 ・警察との連携	被害者遺族 県警広報県民課島村補佐	ふれあい 福寿会館



9	8	火	・性暴力被害と警察の対応	県警広報県民課 長屋警部補	同上
10	13	火	・指示・手配 ・性暴力電話相談対応要領	瀧戸局長 塚本・林相談員	シンクタンク3階
11	26	木	・犯罪被害者支援講演会&写真展の開催	講師 フリーフォト ジャーナリスト大藪順子氏	大垣市情報工房
12	15	火	・裁判の流れ (裁判用語の基本や流れを学習)	研修部会 林相談員 山田支援員	シンクタンク3階
H28 1	19	火	・指示手配 ・性暴力を受けた児童への対応について	瀧戸事務局長 林相談員	同上
2	16	火	・子ども相談センターの役割、活動内容と子どものケアについて	岐阜県中央子ども相談センター判定課長 坪井あかね氏	同上
3	15	火	・指示手配 ・県外研修の報告 ・性暴力被害者支援対応 ・電話当番から待機番へのつなぎ方	瀧戸事務局長 犯罪被害相談員	同上

#### 10 犯罪被害者支援に関する広報・啓発事業

- (1) 被害者の置かれた現状、被害者支援活動の必要性についての理解を深めるため、「犯罪被害者週間」の期間中に、JR岐阜駅及びJR高山駅において街頭広報活動をはじめ、当該週間の周知のためのあらゆる機会を捉え広報活動等を行った。
- (2) 犯罪被害者週間中の行事として、犯罪被害者支援講演会を大垣市で開催した。(前掲載)
- (3) 支援センターの活動状況をまとめた機関誌「こころの輪」を年2回(22・23号)作成し、正会員・賛助会員、関係機関へ配布した。支援活動・報告、被害者家族の手記などを掲載した。
- (4) ホームページのデータを更新し、犯罪被害の実情や遺族の手記、支援センターの活動内容、被害者保護のための法制度、相談窓口などを掲載した。ホームページのブログサイトにも、講演会・研修会の開催状況、街頭広報活動などを掲載して広報に努めた。

また、ぎふ性暴力被害者支援センター設置に伴う支援員養成のための養成講座(7期)の開催等に関する広報をホームページで行った。

各種広報の開催については、次表のとおりである。

実施月日	内 容	参加人員
7月29日(水)	暴力追放岐阜県民大会(羽島市文化センター) パネル展示 リーフレット配布	10
10月1日(木)	赤い羽根共同募金広報活動 JR岐阜駅周辺	5

11月16日(月) 12月1日(火)	懸垂幕取り付け(県警本部庁舎前広告塔) タペストリー貼付(関係機関)	
11月23日(月) 11月29日(日)	パネル展示 リーフレット配布 ふれあい会館ロビー	15
11月25日(水)	犯罪被害者週間街頭広報 JR岐阜駅 JR高山駅	7
2月24日(水)	「安全・安心まちづくり地域連携会議」講話	14
毎月11日	「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」 各務原イオン、リーフレット配布	

## 11 安定的な財政基盤の整備

- (1) 財源構成のうち、会費収入の比率が比較的多いことから新規会員の確保とさらには、会員に長期間継続していただく方策として、ライオンズクラブ等を訪問し、機関誌の配布等の活動を推進した。
- (2) 県・市町村からの補助金・負担金等の公的助成、日本財団・社会福祉団体等の民間団体からの助成金の要望・折衝を積極的折衝した結果、前年度の額を維持した。
- (3) 安定した財政基盤を整備して盤石なものとするため、イオン黄色いレシートキャンペーン活動をはじめ、いわゆる「ホンデリング」の推進、各企業・事業所への「募金箱」設置・促進等の活動を推進した。
- (4) ファンドレイジング活動を取り入れた資金獲得活動方法を会得するため、全国被害者支援ネットワーク(NNVS)のマネジメント・アドバイザー2名による研修を受講した。研修の状況は、次表のとおり。

実施日時	講師、研修内容	受講者
9月14日(月)	NNVSマネジメント・アドバイザー植田 弘氏から「財政基盤」に関する研修を受講した。(第1回)。	局長 次長 神谷相談員
9月18日(金)	NNVSマネジメント・アドバイザー安田 弘氏から「組織運営」に関する研修を受講した。(第1回)	局長 次長
2月17日(水)	NNVSマネジメント・アドバイザー安田 弘氏から「組織運営」に関する研修を受講した。(第2回)	局長 次長
3月10日(木)	NNVSマネジメント・アドバイザー植田 弘氏から「財政基盤」に関する研修を受講した。(第2回)	局長 次長

## 第2 会議の開催

- 1 理事会・総会を開催し、事業・決算報告、事業・収支予算計画等を審議した。

第1回理事会	6月4日(木) 13:30 ふれあい福寿会館 408小会議室
	・平成26年度事業報告・収支決算報告に関する件 ・役員を選任に関する件

第2回理事会	6月25日(木) 14:30 シンクタンク庁舎 入札室
	・代表理事選任に関する件
第3回理事会	8月27日(木)～ 理事会決議の省略
	・ぎふ性暴力被害者支援センター受託事業に伴う事業規程及び養成講座等規程の一部改正に関する件
第4回理事会	2月25日(木) 13:30 ふれあい福寿会館 408 小会議室
	平成28年度事業計画・収支予算に関する件 ・会員の入会申し込みに関する件
定時総会	6月25日(木) 13:30 シンクタンク庁舎 大会議室
	・平成26年度事業報告・収支決算報告に関する件 ・理事の選任に関する件
第2回総会	3月17日(木) 13:30 ふれあい福寿会館 301 中会議室
	・平成28年度事業計画・収支予算に関する件

## 2 運営委員会

偶数月に運営委員会を開催し、事業運営等について協議した。開催状況は、次表のとおりである。

No.	開催月日	協議事項
1	4月23日(水) 14:00	平成26年度事業報告・決算(案)の事前協議 第7期養成講座の開催
2	8月20日(木) 14:00	ワンストップ支援センター設置検討 性暴力被害者支援フォーラムの開催 第7期養成講座報告 自民党PTヒアリング
3	10月22日(木) 14:00	預保給付金に係る助成金募集 犯罪被害者週間中の行事計画・広報活動 ぎふ性暴力被害者支援センターの開設
4	12月24日(木) 14:00	被害者支援に関する関係機関との会議 預保納付金に係る助成金申請 ぎふ性暴力被害者支援センターの相対状況 犯罪被害者週間行事報告
5	2月15日(月) 14:00	平成28年度事業計画・予算(案)の事前協議 定款の変更 日本財団監査報告

